



■ 北臨技総会・第2回理事会報告 ■

令和8年度一般社団法人北海道臨床衛生検査技師会定時総会を6月6日(土)札幌医学技術福祉歯科専門学校において開催しました。出席者は2,632名(当日出席50名、委任状2,582名)でした。総会冒頭、早坂会長の挨拶に続き、札幌地区の磯辺正道氏を議長に選出し、議案審議に入りました。

主な議案についてご報告いたします。第一号議案、第二号議案の令和7年度事業及び決算報告と監査報告については質疑なく承認されました。第三号議案は役員候補者選出委員会より令和8・9年度役員として理事28名、監事2名が提案され、承認されました。更に第四号議案では令和8・9年度の北臨技役員候補者選出委員が提案され承認されています。今回の改選において14名の理事が交代しています。総会終了後には令和7年度の功労者表彰授与式

を執り行いました。北臨技特別功労賞として北見赤十字病院 畑中 宗博氏、北臨技功労賞に旭川赤十字病院 青木 晋爾氏、釧路赤十字病院 小林 義朋氏の両名が表彰されました。

その後、第2回理事会が開催され、はじめに品川 雅明氏が会長として選出され、副会長の責任順位、北臨技執行体制、北臨技講習会の企画・予算案が提案承認されました。更に品川会長より北臨技の新たな活動方針が示され、地区理事とも意見交換を行いました。

新体制による技師会運営が始まり、組織運営はこれまでの良い点を踏襲しつつ、会員の皆さまに魅力を感じていただけるよう進めるとともに、研修会等ではWebを最大限活用し、受講の利便性向上にも努めてまいります。

最後になりますが、退任された早坂前会長をはじめ役員の皆さまのこれまでのお力添えに深く感謝申し上げます。

(北臨技 副会長 和田 直樹)

◆ 令和8・9年度 北臨技役員 ◆

会 長	品川 雅明 (日本医療大学)	副 会 長	和田 直樹 (札幌徳洲会病院)
副 会 長	坂口 良典 (NTT東日本札幌病院)	井上 真美子 (北海道大学病院)	
常務理事(組織部長)	笹木 剛志 (市立札幌病院)	常務理事(教育研修部長)	山田 暁 (札幌医科大学附属病院)
常務理事	阿部 記代士 (札幌医科大学附属病院)	常務理事	伊藤 好樹 (小樽市立病院)
〃	北澤 竜馬 (JCHO北海道病院)	〃	小池 祐史 (日本医療大学)
〃	古口 友紀子 (札幌医学技術福祉歯科専門学校)	〃	土井 克泰 (第一岸本臨床検査センター)
〃	中野 雅世 (札幌厚生病院)	〃	難波 宏樹 (江別市立病院)
〃	林 光昭 (札幌真駒内病院)	〃	山田 幸穂 (北海道大学病院)
理 事	遠藤 輝夫 (北海道医療大学)	理 事	米井 誠 (第一岸本臨床検査センター)
地区理事(道北)	森田 裕子 (道北勤医協一条通病院)	地区理事(道央)	伊藤 智章 (苫小牧東病院)
〃 (北見)	畑中 康教 (北海道立北見病院)	〃 (札幌)	木田 秀幸 (札幌北楡病院)
〃 (道東)	石橋 芳昭 (釧路労災病院)	〃 (小樽)	寺田 修治 (北海道社会事業協会小樽病院)
〃 (十勝)	須藤 英樹 (北海道社会事業協会帯広病院)	〃 (室蘭)	須甲 正章 (製鉄記念室蘭病院)
〃 (空知)	大西 啓之 (留萌市立病院)	〃 (道南)	佐々木 淳 (市立函館病院)
監 事	塩崎 正樹 (札幌北楡病院)	監 事	川端 忠範 (税理士法人札幌経営センター)

■ 令和8年度 新入会員研修会 終了報告 ■

今年度の新入会員研修会は、5月30日(土)に札幌医学技術福祉歯科専門学校会場とZOOMウェビナーを併用したハイブリッド形式で開催し、現地25名、動画配信71名の参加申し込みをいただきました。「臨床検査技師、はじめの一步!! 伝えたいコツとポイント」をテーマに、早坂会長からは技師会の概要や職能団体としての役割、北臨技の研修事業・精度管理活動・学会・技師連盟の活動について紹介があり、各検査研究部門長からは基礎知識、業務上の留意点、認定資格制度などについて専門的な解説が行われました。アンケートでは多くの参加者から「満足」との回答をいただき、実務に役立つ研修会として好評でした。ご参加いただいた皆様へ深く感謝申し上げます。来年度以降も開催予定ですので、新入会員の皆様はもちろん、学び直しを希望される方もぜひご参加ください。

(北臨技 副会長 坂口 良典)

■ 日本臨床検査技師連盟主催 勉強会 終了報告 ■

去る4月20日、日臨技連盟主催の勉強会にて「北海道・技師会と連盟の連携について～技師会と連盟は両輪！を目指した取り組み～」をテーマに報告の機会をいただきました。当日は、同連盟北日本支部ブロック長の磯辺氏より、組織の枠組みや役割についての報告があり、私からは北臨技の立場から、両組織が密に連携し「車の両輪」として歩むための活動報告を行いました。職能の地位向上や業務拡大といった技師会単独では解決が困難な課題に対し、北臨技は法改正を見据えた「政策参加」を極めて重要な戦略として位置付けています。特に個人の信条を尊重する「選挙活動」と組織として職能の未来を切り拓く「政策参加」を明確に切り分け、連携を深化させる事の重要性を強調致しました。法制度の谷間で現場が直面している課題や矛盾を政治の場へ届けることは、我々の職域を守るために不可欠な活動です。今後も技師会と連盟が一体となり、実効性のある活動を展開してまいります。

(北臨技 前副会長 下津 達也)